

2018年10月30日 第249号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター第5回総会

市民と野党の共闘の力、私たちの運動に確信を

改憲発議させない!! 9条改憲を断念させる運動を強めよう!



憲法共同センターは 10 月 29 日夜、平和と労働センター・全労連会館 2 階ホールで第 5 回総会を開き、30 団体 45 人が参加しました。3000 万人署名の取り組みをはじめ、さまざまな改憲阻止の取り組みが参加者から報告されました。市民と野党の共闘の力、私たちの運動があったからこそ安倍改憲を思い通りに進ませていないということに確信を持

ち、3000 万人署名をやり切り、さらに運動を強めていく決意を固めあいました。日本共産党の山添拓参議院議員が駆け付け、国会情勢報告を行いました。

雨の日も、風の日も、猛暑の日も、全国津々浦々3000万人署名に奮闘

主催者あいさつを全日本民医連の岸本啓介事務局長が行いました。「前回総会から、改憲発議させないと大奮闘し、通常国会では憲法審査会の審議をまともにさせなかった。雨の日も、風の日も、猛暑の日も 3000 万人署名に全国津々浦々で奮闘してきた結果だ。世論は、『今、改憲する必要はない』『安倍首相に改憲してほしくない』との意見が広がっているが、安倍首相は絶対にやる気だ。9 条に自衛隊を書き込むことの危険性がまだまだ知られていない。危険性を広げていくたたかひの軸は 3000 万人署名の達成であり、対話で議論を深めていくことが重要。改憲発議を許さないため、議論を深めていただきたい」と訴えました。

改憲勢力とのせめぎあい激化 改憲断念まで粘り強く

全労連の竹下武常任幹事が議案提案。はじめに、憲法共同センターが市民運動と連携し、総がかり行動実行委員会や市民アクションの一翼を担い、たたかいを広げるための行動提起や宣伝物の作成、3000万人署名推進や辺野古新基地建設反対など、取り組みの特徴点を述べました。特徴的な情勢として、安倍改憲を再加速させる動きが露骨になりせめぎあいが激化していることを述べ、「来夏の参院選で改憲勢力を少数に追い込むためにも改憲反対の世論と国民的な運動を発展させ『市民と野党の共闘』で選挙に勝利することが来春にかけての課題である」と強調しました。

取り組みの基本方向として、①総がかり行動実行委員会、市民アクション規模での共闘で積極的に役割を果たす、②取り組みの中心に3000万人署名をすえ、安倍改憲断念を勝ち取るまで粘り強く取り組みを続ける、③さまざまな単位での学習を強める。9条改憲案の問題点、危険性についての学習、意思統一を早急にすすめる、④与野党問わず、地元選出のすべての国会議員への要請を繰り返す、⑤ニュース等の発行、⑥11月3日、5月3日の「憲法集会」など大規模集会に全国的に取り組む。国会の重要段階での全国的な大行動に取り組むことでの準備をすすめる、以上、6点を提起しました。



消費税増税切り口に憲法対話

参加者から10人が発言しました。

●3000万人署名は、小さな単位でやりきることが大事。31人の弁護士事務所で8000人の目標をやり切った。臨時国会で改憲発議させないことが大事。統一地方選、参院選があり地元から攻めることが重要(自由法曹団)。

●政治課題は取り組まないとの職場を変えるために、全日赤ではニュースを発行。愛知では若い専従者がニュースを

発行し、10日間のうち4日間に宣伝を入れるなど取り組みを強め、署名もプラスで3000人の報告があがってきた(医労連)。

●オール埼玉で駅頭リレー宣伝を2回行った。沖縄県知事選から潮目が変わった。10月には810人の参加で539人分の署名が集まった。消費税増税を切り口に、「増税はアメリカから武器を買うため」と生活と9条を結び付けると話しやすくなる(埼玉共同センター)。

●若者憲法集会のメンバーで宣伝。8人で30人と対話し、21人の署名が集まった。青年の中に変革のエネルギーがあり、平和や働き方について模索する中で、民青が働きかけたことによって要求に気づき足を踏み出している(民青)。

●障害児学校では、すべての先生に署名してくれるように声掛け。しらみつぶしにあたっている。別の学校では、先生が定点宣伝をしているのを見てきた生徒が署名してくれたなど、確信をもって取り組んでいる。ただ署名をおろすだけではやってくれるものではなく、語れる力をつけないと目標には到達できない(全教)。

●総がかり行動実行委員会での取り組みなど共闘を広げることができ、憲法改悪を止めていることに確信を持とう。憲法審査会を開かせないため、野党共闘を支える運動が求められている。情勢を切り開いていこう(全労連)。

●憲法パンフやポスターが好評。パンフの版を独自に使って普及しているところも。田野畑村では、ポスターを貼りだしたことで村の雰囲気が変わったということだ。学習を力に、力をあわせ奮闘し

よう(憲法会議)。

●埼玉の地域で、今まで宣伝に出たことがなかったところが足を踏み出したら、「安倍はいつまでやるのか」など対話が弾んだ。対話が求められている、神奈川では1万件のローラー作戦。憲法カフェで憲法対話。紙芝居を作成し普及する。広げる人を広げることが重要(新婦人)。

●10月から憲法共同センターに加入した。朝鮮半島での平和の流れは、憲法9条に基づく平和の流れ。安倍首相は真逆のことをしている。原水爆禁止、9条の価値を訴えていく(原水協)。

●共同センターで宣伝・デモを行っている。市民アクションとしても毎月19宣伝を12~13か所で100人くらいが参加し行っている。署名は100数筆が集まる(滋賀共同センター)。

憲法語る人を増やし 3000 万人署名をやりきろう

新婦人の米山淳子副会長が閉会あいさつ。「沖縄での知事選、豊見城市長選、那覇市長選と3連勝したことが全国を励ました。潮目が変わり、政治を『変えよう、変えられる』と国民の意識が変化してきた」と指摘。「憲法を語り、広げる人を作り、広く対話をするのが大事。安倍政権を倒し改憲を断念させる。さまざまな層で声をかけ、3000万人署名をやり切ろう」と結びました。

止めよう！改憲発議－この憲法で未来をつくる 11・3 国会前大行動

★日 時 11月3日(土・祝) 13:30~15:30

★場 所 国会正門前・南庭・北庭など (憲法共同センターは国会図書館前)

憲法共同センター学習交流集会

★日 時 11月4日(日) 10:30~16:00

★場 所 全日通霞が関ビル8階 大会議室B

東京メトロ 銀座線 『虎ノ門駅』 5・6・11番出口より 徒歩5分、千代田線・日比谷線 『霞ヶ関駅』 A13番出口より 徒歩8分、丸ノ内線 『国会議事堂前駅』 2・4番出口より 徒歩8分

★講 演 「安倍9条改憲NO!」－勝利の力は、3000万人署名と野党共闘

五十嵐 仁氏 法政大学名誉教授・全国革新懇代表世話人

★国会報告 日本共産党 吉良よし子参議院議員

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2018/10/181103chirashi.pdf>

◆注◆ 昼食について。日曜日で、オフィス街ということもあり、近くの飲食店はほとんどがお休みです。最寄り駅付近にコンビニはありますが、事前に各自でご準備いただきますようお願いいたします。